



Hewlett Packard
Enterprise

HPE Network Node Manager i Software

ソフトウェアバージョン: NNMi 10.20

HPE Network Node Manager i—HPE Operations
Orchestration統合ガイド

ドキュメントのリリース日: 2016年7月
ソフトウェアのリリース日: 2016年7月

ご注意

保証

Hewlett Packard Enterprise製品とサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここに記載された情報は追加の保証をなすものではありません。HPEでは、ここに記載されている技術的、または編集上の不正確さや脱漏については責任を負いません。

ここに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。

制限付き権利

機密コンピューターソフトウェアこれらを所有、使用、または複製するには、HPEが提供する有効なライセンスが必要です。FAR 12.211および12.212に準拠し、商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメント、および商用アイテムの技術データは、ベンダーの標準商用ライセンスの下、米国政府にライセンスされています。

著作権

© Copyright 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ここに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise製品とサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここに記載された情報は追加の保証をなすものではありません。HPEでは、ここに記載されている技術的、または編集上の不正確さや脱漏については責任を負いません。機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPEが提供する有効なライセンスが必要です。FAR 12.211および12.212に準拠し、商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメント、および商用アイテムの技術データは、ベンダーの標準商用ライセンスの下、米国政府にライセンスされています。

商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

Appleは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

AMDは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Google™は、Google Inc.の登録商標です。

Intel®, Intel® Itanium®, Intel® Xeon®, Itanium®は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

Linux®は、米国およびその他の国におけるLinus Torvalds氏の登録商標です。

Internet Explorer、Lync、Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

OracleおよびJavaは、Oracleおよびその関連会社の登録商標です。

Red Hat® Enterprise Linux Certifiedは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。

sFlowは、InMon Corpの登録商標です。

UNIX®はThe Open Groupの登録商標です。

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。

この製品には、Visigoth Software Society (<http://www.visigoths.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。

マニュアル更新

このドキュメントのタイトルページには、次の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアバージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日。ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日。ソフトウェアのこのバージョンのリリース日を示します。

最近の更新を確認するか、ドキュメントの最新版を使用していることを確認するには、<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport/search-result?keyword=> を参照してください。

このサイトでは、HPパスポートのアカウントが必要です。HPパスポートのアカウントがない場合は、HPパスポートのサインインページで **[アカウントを作成してください]** ボタンをクリックしてください。

サポート

HPEソフトウェアサポートWebサイトには、次のアドレスからアクセスしてください。 <https://softwaresupport.hpe.com>

このWebサイトでは、製品、サービス、およびHPEソフトウェアが提供するサポートに関する詳細と連絡先の情報を提供します。

HPEソフトウェアサポートでは、お客様にセルフソルブ機能を提供しています。すばやく効率的な方法で、お客様のビジネス管理に必要な対話型テクニカルサポートツールにアクセスできます。サポートの大切なお客様として、サポートWebサイトで次の操作が可能です。

- 興味のあるナレッジドキュメントの検索
- サポート事例と改善要求の送信と追跡
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPEサポートの問合せ先の検索
- 利用可能なサービスに関する情報のレビュー
- 他のソフトウェアユーザーとの情報交換
- ソフトウェアトレーニングの調査と登録

ほとんどのサポートエリアでは、HPパスポートのユーザーとして登録してサインインする必要があります。また、多くのエリアではサポート契約も必要です。HPパスポートのIDを登録するには、 <https://softwaresupport.hpe.com> にアクセスし、 **[HPパスポートに登録]** をクリックしてください。

アクセスレベルの詳細については、次のURLにアクセスしてください。

<https://softwaresupport.hpe.com/web/softwaresupport/access-levels>

目次

HPE Operations Orchestration	5
HPE NNMi - HPE OO統合	5
提供されるHPE OO操作	5
HPE NNMi – HPE OO統合の使用方法	6
NNM iSPI NET Diagnostics	6
提供されるHPE OOフローの定義	6
NNM iSPI NET診断のインストールと使用方法	7
HPE OO統合の比較	7
ドキュメントのフィードバックを送信	10

HPE Operations Orchestration

HPE Operations Orchestration (HPE OO) は、データセンターにおけるインシデントの解決、変更のオーケストレーション、および日常的なメンテナンスタスクを自動化します。HPE OOは以下のタスクで役立ちます。

- サービス可用性を向上させるためのインシデント解決の自動化。
- 変更管理およびプロビジョニングのベストプラクティスの実施。
- ファイルのアーカイブなどの単純なタスク、および一貫性がありエラーのないディザスターリカバリ計画などの複雑なタスクの自動化。
- 物理インフラストラクチャーと整合性のある、セルフサービスプロビジョニングおよび日々のメンテナンスタスクを含む仮想インフラストラクチャーの管理。

HPE OOのご購入については、HPE営業担当者にお問い合わせください。

この章には、以下のトピックがあります。

- [「HPE NNMi - HPE OO統合」](#)
- [「NNMi iSPI NET Diagnostics」](#)
- [「HPE OO統合の比較」](#)

HPE NNMi - HPE OO統合

HPE NNMi – HPE OO統合を使用すると、NNMiコンソールからHPE OOフローを実行できます。設定に応じて、フローをライフサイクルの移行アクションとして、または **[アクション]** メニューから実行することができます。

ライセンスが付与されているHPE NNMiとHPE OOを実行している場合は、この統合を使用するための追加のライセンスは必要ありません。

HPE NNMi – HPE OO統合とNNMi iSPI NET診断を同時に実行できます。

提供されるHPE OO操作

HPE NNMi – HPE OO統合により、HPE NNMi管理対象デバイスとやりとりするための以下のHPE OO操作が可能になります。

- インシデントでの操作：
 - インシデントの追加操作では、新しいインシデントを追加します。
 - インシデントの削除操作では、インシデントをHPE NNMiから削除します。
 - ライフサイクル別のインシデントの列挙操作では、指定されたライフサイクルのすべてのインシデントを取得します。
 - 重大度別のインシデントの列挙操作では、指定された重大度のすべての未解決のインシデントを取得します。
 - インシデントの取得操作では、インシデントに関する詳細情報を取得します。

- ライフサイクルステータスの更新操作では、インシデントのステータスを変更します。
- 優先度の更新操作では、インシデントの優先度を更新します。
- ノードでの操作:
 - ノードの削除操作では、ノードをHPE NNMiから削除します。
 - 名前別のノードの取得操作では、指定した名前を持つノードを取得し、その詳細を返します。
 - UUID別のノードの取得操作では、指定したUUIDを持つノードを取得し、その詳細情報を返します。
 - ノードの結果の取得操作では、HPE NNMiが指定されたノードの日付に関する結論の要約を取得します。
 - ノードの管理モードの更新操作では、ノードの管理モードを変更します。この操作は、モニタリングの無効化などのタスクに使用できます。

HPE NNMi – HPE OO統合の使用法

HPE NNMi – HPE OO統合の有効化、使用法、無効化、およびトラブルシューティングについては、<http://softwaresupport.hpe.com>で入手できる『HPE Operations Orchestration Software HPE Network Node Manager i統合ガイド』を参照してください。

NNM iSPI NET Diagnostics

NNM iSPI NET診断はNNM iSPIネットワークエンジニアリングツールセットソフトウェア (NNM iSPI NET) の一部であり、HPE NNMiから個別に購入する必要があります。NNM iSPI NET診断を使用すると、HPE NNMiが特定のネットワークインシデントを検出したときにHPE提供の診断フローが自動的に診断情報を収集します。

NNM iSPI NET診断サーバーはHPE OOの組み込みパッケージです。すでにフルバージョンのHPE OO製品を所有している場合、NNM iSPI NET診断フローをそのサーバーにインストールできます。

フルバージョンのHPE OO製品を所有している場合は、HPE OOのフロー定義をHPE NNMiにインポートした後、HPE NNMiで特定のネットワークインシデントが検出されたときに実行されるようにそれらのフローを割り当てることもできます。

提供されるHPE OOフローの定義

インストール後、NNM iSPI NETによって以下の診断が可能になります。

- Ciscoルーターの診断:
 - Cisco Router Baseline情報フローは、一連の表示コマンドを使用して現在のCiscoルーターの設定を調べます。
 - Cisco Show IP Routeフローは、show ip routeコマンドを使用してルーティング情報を取得します。
 - Cisco Route To Node Diagnosticフローは、ターゲットノードに対するpingまたはtracerouteの失敗を判定します。ルーターを使用してターゲットノードにpingおよびtracerouteを実行します。

- Cisco Interface Diagnosticフローは、Ciscoルーター上の指定されたインターフェースに対して、一連の診断チェックを実行します。
- Ciscoスイッチの診断：
 - Cisco Switch Baseline情報フローは、一連の表示コマンドを使用して現在のCiscoスイッチの設定を調べます。
 - Cisco Switch Spanning Tree Baselineフローは、Ciscoスイッチからスパニングツリープロトコルおよびポートの情報を収集します。
- Nortelスイッチの診断：
 - Nortel Port Diagnosticフローは、Nortelスイッチ上の指定されたポートを対象に、レート制限や稼働率を含む統計情報を判定します。
 - Nortel Route to Node Diagnosticフローは、ターゲットノードに対するpingまたはtracerouteの失敗を判定します。
 - Nortel Switch Baselineフローは、Nortelスイッチの設定を調べます。
 - Nortel Switch Spanning Tree Baselineフローは、Nortelスイッチからスパニングツリープロトコルおよびポートの情報を収集します。

使用可能な診断の詳細については、NNMiヘルプの「NNM iSPI NETによって提供された診断 (フロー)」を参照してください。

NNM iSPI NET診断のインストールと使用法

既存のHPE OOサーバーへのNNM iSPI NET診断サーバーのインストールまたはNNM iSPI NET診断フローのインストールの詳細については、『HPE NNM iSPI NET Planning and Installation Guide』を参照してください。

NNM iSPI NET診断フローおよび他のNNM iSPI NETの使用法の詳細については、『HPE NNM iSPI NET Planning and Installation Guide』を参照してください。

HPE OO統合の比較

HPE NNMi – HPE OO統合とNNM iSPI NET診断の主な違いは次のとおりです。

- 実行するフローの判断：
 - NNM iSPI NET診断では、さまざまなデバイスで実行するフローを設定できます。またHPE NNMiに、HPE NNMiのデバイスカテゴリおよびベンダー情報に基づいて、実行するフローを割り出させることができます。
 - HPE NNMi – HPE OO統合では、HPE OOフローによって、実行する操作を決定する必要があります。たとえばSNMPColdStartラップの場合、HPE NNMiがデバイスカテゴリ、ベンダーなどの情報をHPE OOフローに渡すと、フローによって、実行する操作が決定されます。
- フローの拡張性：

- HPE NNMi – HPE OO統合では、NNMi SDKにアクセスするためのフローを提供します。
- HPE NNMi – HPE OO統合では、指定されたURLを使用してメニュー項目から、またはNNMiイベントアクションを使用することにより、任意のHPE OOフローを起動および表示する、一般的な方法を提供します。
- NNM iSPI NETを購入した場合は、NNM iSPI NETからのみフローを使用できます。
- HPE OOとNNM iSPI NETの両方を購入した場合は、HPE OOのフローをHPE NNMiにインポートできません。
- フロー実行率の管理：
 - NNM iSPI NET診断では、HPE OOに負荷がかかりすぎないように、フローの実行を管理します。
 - HPE NNMi – HPE OO統合の場合、HPE NNMiは、ライフサイクルの移行アクションを実行するように設定されているインシデントの数だけフローの実行を試みます。

注意: ネットワークのスイッチやルーターに影響を及ぼす、URLベースで起動するHPE OOアクションを使用するときは、注意が必要です。HPE OOアクションが(短期間に) telnetまたはsshを使用して何度もデバイスにログオンしようとする、デバイスはこれらのアクションをサービス拒絶攻撃と解釈する可能性があります。またこれらのデバイスにより、HPE OOサーバーが、追加セッションを構築できなくなる場合があります。この注意に記載されている結果は、デバイス構成とURLベースのHPE OOアクションの起動率によって変わります。

- デバイスログオン情報の維持：
 - NNM iSPI NET診断では、デバイスのユーザー名とパスワードを、フローを実行するタイミングの設定とは別に格納します。HPE NNMiがSNMP設定を格納するのと同じように、資格証明をデフォルト値として特定のデバイス、デバイスグループに設定できます。フローが実行されるたびに、NNM iSPI NET診断は、デバイスの正しいログオン資格証明を取得して、それをHPE OOに渡します。
 - HPE NNMi – HPE OO統合の場合、設定されたアクションの起動URLにデバイスのユーザー名とパスワードが含まれている必要があります。したがって、各アクションは同じログオン資格証明を持つデバイスのグループに限定されます。
- フロー実行履歴の表示：
 - NNM iSPI NET診断では、フロー実行履歴をインシデントとともに格納します。NNMiユーザーは、NNMiコンソールからフロー実行結果の履歴にアクセスできます。
 - HPE NNMi – HPE OO統合では、起動アクションがフローを初期化しますが、以前実行されたフローへのアクセスは提供しません。NNMiユーザーは、HPE OO Centralにログオンして、フロー実行履歴を表示する必要があります。
- フローのベースラインの設定：
 - NNM iSPI NET診断では、将来のフローと比較するためのベースライン設定を設定できます。
 - HPE NNMi – HPE OO統合では、手動でベースラインフローを実行して、将来比較するためのフロー結果を得ることができます。
- SSL接続用の証明書の使用：

- NNM iSPI NET統合では、HPE OOとHPE NNMi間でSSLを使用する必要があります。
- NNM iSPI NET統合だけでなく、完全なHPE OO製品を使用する予定がある場合は、HPE OOキーストアの証明書を周知のファイルにエクスポートしてから、iSPI-NET Diagnostics Serverインストーラーを実行する必要があります。詳細については、『HPE NNM iSPI NET Planning and Installation Guide』を参照してください。
- NNM iSPI NET診断のインストールプロセスでは、NNMi管理サーバーとHPE OOサーバー間のSSL通信用の証明書を設定します。

ドキュメントのフィードバックを送信

このドキュメントに関するご意見については、電子メールでドキュメントチームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

HPE Network Node Manager i—HPE Operations Orchestration統合ガイドに関するフィードバック (Network Node Manager i Software NNMi 10.20)

電子メールの本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、network-management-doc-feedback@hpe.com にお送りください。

フィードバックをお寄せください